

2017/2/9

(日々雑感 7)



とにかくお金が手元にありません。

「だったら働きゃ良いじゃない」と思われるかもしれませんが、こんなド田舎では仕事がありません。あってもきつい肉体労働しかありません。

「でも、お金がないなら仕方ないんじゃないの?」と言われるかもしれませんが、それでは数ヶ月前に手術した頸と腰が折角治りかけているのに、台無しになってしまいます。第一、きつい仕事なので、帰ってきたらご飯を作ってお風呂に入ったら、もうバタンきゅう。本来の再立ち上げの仕事が出来なくなります。それでは一体何のためにそんなことをしているか分からなくなってしまいます。

「じゃ、お金下ろせば良いじゃないの」とも言われそうですが、お金は下ろせない状況です。と言うのも、お金は殆ど外貨で持っていて、円の所持はきわめて少ないからです。

数年前、かなりの円高の頃、これからは円安になる。今は(その時のこと)、円高だからドルは安値で買い時。

それに、デフレの日本はいずれ量的緩和(実際は質的緩和でしたが)をする。反対に米国の量的緩和はいずれ終わる。金利差による通貨価値から、きっとドル高円安傾向になるはず。しかもかなり長期にわたって。地政学的リスク等のアクシデントさえなければ。

ならば、外貨で持っていた方が得だと数年前に予測して殆ど外貨に切り換えました。それを、為替相場を見ながら少しずつ円転して使っていたのです。

途中で全額売却しておけば良かったのと言われるかもしれませんが、今後とも、基本的な円安傾向はかなり続くだろうし、更に円転額が上がるのではないかと思っていたので一気には売らずにおいたのです。

その外貨預金銀行のカードが今は手の届かないところにあって、円転しようにも出来ないのです。

外貨は基軸通貨の米ドル、資源国通貨の豪ドル、それと割合安定をしているカナダドルに、カウンター動きをする新興国通貨のトルコリラ、ブラジルリアル等です。後者二つの新興国通貨は、現在は暴落で大損していますが、案の定、米ドルでの売却分ではかなりの差益が

出ました。

こうした動きは、その前、図らずも大の苦手の経理担当になったとき、経理になったからにはお金の動きを知らなくてはいけないと思い、経済の勉強を同時に始めたことによります。その後進んで、世の中を動かしているのは、お金と愛情を求める人の動きの二つだとおもうようになったのですが・・・

余談でした。話を元に戻します。

しかし、とにもかくにも、その米ドルが円転できない。

そんなわけで、金欠病。

しばらくして、口座残高がなくなって、携帯やインターネットプロバイダーからの引き取りが出来なくなり、パソコンもスマホもタダの箱になったらどうしよう？仕事が出来ない。次回、年金が振り込まれるまで、いくらかでも街角金融から借りに行くしかないか？とかとか、いろいろ心配をしております。

冷や汗たらたらの状況なのです。

それにしてもこうなってくると、年金の振り込みが毎月でないのはキツイです。恐らく年金機構が振込手数料と事務量のセーブのためにやっているからだとは思いますが、2ヶ月（隔月振り込み）の間に、間に合わず沈没してしまう人もいるのではないかなと思ったりもする昨今ではあります。